



# がんの化学療法 分かりやすく

がんの不安や悩みを患者同士で話し合う「おしゃべりサロンin伊勢まちなか」が三十一日、伊勢市八日市場町の市福祉健康センターであり、患者や家族ら二十三人が参加した。

(青木ひかり)

## 伊勢で認定看護師・中村さん講演

毎月開いているサロンの拡  
大版。相談会のほか、伊勢赤  
十字病院のがん化学療法看護  
認定看護師、中村晴代さん  
(左)による化学療法の講演が  
あった。

化学療法は、抗がん剤を使  
い、手術では取り除けない患  
部の治療や再発防止などを目  
的に行う。再発防止や進行を  
遅らせる場合、治療は長期間  
に及ぶ場合が多い。講演で  
は、目的を把握して化学療法  
を始めることが大切と指摘。  
吐き気や脱毛など副作用を伴  
うため「頑張り過ぎないこと  
も心得です」と助言した。

副作用については、全て同  
じではないと説明。今年



参加者の質問に答える中村さん。伊勢市八日市場町の市福祉健康センターで

## おしゃべりサロン 相談会も

で十年目。センターをサポートし、伊勢市での開催場所を提供する「いせ在宅医療クリニック」の医師・遠藤太二郎さん(右)は「孤独感や家族に話しづらいことも、同じ境遇の人と分かち合える。自分の経験を生かして支え合う『ピアサポーター』の育成にもなる」と意義を語る。

サロンは通常、毎月第三木曜午後一時半から、同市御園町高向の縁の家で開催している。予約不要、無料で、どの地域に住む人も参加できる。次回は三十一日。伊勢市福祉健康センター059(223)1616